

なぜ、Riki-maru 3 ?

毎週金曜日に加津佐図書館の職員さんが本校の図書室に来て、整備や貸し出し等の支援をしてくださっています。その支援員さんから、「なぜ、学校通信の表題は“Riki-maru 3”なのですか？」とお尋ねがありました。これについては、昨年度の第1号で説明をしていましたが、新入生や新しく赴任された先生方もいらっしゃるのので、改めて説明します。加津佐の“加”を分解すると、“力”と“口”になります。そこで、これをもじって“Riki”と“maru”としました。さらに、本校スローガンである3つの“わ”（話と輪と和）をもじって“maru 3”とし、『加津佐中の3つの“わ”』という意を込めて“Riki-maru 3”としたわけです。（決して、おやじギャグではありません!!）



“言葉と文字”は文化です。特に日本語は“ひらがな”に“カタカナ”さらに“漢字”もあり、非常に繊細かつ多様であります。「日本語は難しい」とよく言われますが、その分、奥深く面白くもあります。更に言えば、“言葉と文字”は文化の継承であり、何より学習の基本となります。学校において“読書活動の推進”が大きな取組の一つにあげられますが、まさに“的を射た”活動なのです。ちなみに、4月23日は「子ども読書の日」。これは、子どもの読書活動についての関心と理解を深め、同時に子どもの読書活動への意欲を高めるために、2001年に設けられました。知恵や知識の源であり心の糧でもある読書に親しんで、言葉の達人になって欲しいと思います。さあ、さっそく Go to library! キャンペーンを始めましょう。

じょそう・・・



この時期、何より手がかかるのが“じょそう”。この言葉をパソコンにうちこみ変換しようとしたとき、私の頭には漢字が3つほど浮かびました。当然“除草”、そして“助走”と“女装”。で、実際に変換してみると、更にあと1つありました。“序奏”（音楽に疎い私には浮かばなかった言葉です。イントロのことです）「ああ、なるほど、やっぱり日本語は面白い！」と思った次第です。

さて、本題に入ります。体育大会まで1ヶ月を切りました。いよいよ練習も本格化します。その熱気に負けまいと、グラウンド周辺の草も元気を出しています。4月に入ってから、PTAの施設部長さんが除草剤を散布してくれましたが、それでもやはり除草が必要な状況にあり、先週は体育科の加藤先生と畷取先生がグラウンド周辺で草刈機と格闘していました。「それでも追いつかない。こういうときこそ人海作戦!!」ということで、さっそく明日、昼休みと掃除の時間に全生徒で除草作業を行うことにしました。一人の力は小さくても、その一人ひとりの力を合わせれば大きくなります。その力を最大限に発揮するためには、一人ひとりの意識が大切です。自分たちの学校を、自分たちの体育大会を素晴らしいものにするため、皆で協力してほしいと思います。